

みんなで作る 「新しい文化会館」

～「みんなが集い、創り、伝える 感動の 飯田ひろば」を目指して～

「舞台芸術の鑑賞と創造」「人形劇のまちづくり」の2つを事業の柱としている飯田文化会館。建設から半世紀がたち、計画的に改修を行ってきましたが老朽化は進んでいます。

市では新しい文化会館の建設を目指し、「新文化会館整備検討委員会」を昨年6月に発足しました。また、市民の皆さんの思いが詰まった新しい文化会館を築こうと、市民ワークショップを開催しています。

今回の特集では、検討委員会の活動状況や市民ワークショップの様子を紹介します。皆さんもぜひご意見をお寄せください!!

●問い合わせ／飯田文化会館 ☎0265(23)3552

飯田文化会館の50年

飯田文化会館は、市民文化の向上と福祉の増進に向けて、昭和47年(1972年)4月29日に開館。当初は貸館事業が中心でしたが、1979年に「人形劇カーニバル飯田」として始まった人形劇文化の盛り上がりや、1989年の「アフィニスセミナー」の開始が大きな力となって事業館としての運営へ転換。

その後、飯田文化協会をはじめとし、市民と行政が共に創造し活動する舞台芸術の拠点となってきました。



新文化会館整備検討委員会の経過

整備検討委員会の委員は19名。文化会館の利用団体や教育・文化・福祉分野でそれぞれ活躍する団体、公募委員などの市民委員と、ホール運営に携わる専門家、大学教授などの学識委員で構成しています。今年3月までに5回の検討委員会が開催され、新しい文化会館の基本理念、基本構想の検討が行われています。

●第1回 令和4年6月10日

「飯田の文化とは何か」についての意見交換

●第2回 令和4年7月19日

「飯田文化会館が果たす役割」についての意見交換

●第3回 令和4年9月22日

新しい文化会館の基本理念の素案を検討

●第4回 令和4年11月25日

リニア時代の新しい文化会館のあり方についての学習会
今後の基本構想を検討していくためのヒントを得るために
外部講師による講演と学識委員との対談を実施

●第5回 令和5年2月3日

舞台芸術（施設）の視点と地域づくりの視点から考える飯田らしい「公立劇場の役割」の検討



これまでの整備検討委員会での検討や市民ワークショップで出された意見により、次のように仮の基本理念を設定しました。

新しい文化会館の基本理念

みんなが集い、創り、伝える 感動の 飯田ひろば

人形劇や公民館活動など、「飯田らしさ」と呼ばれるものが続いてきた理由は、自分たちが「楽しい」、「面白い」と思えるから。そんな飯田らしい地域づくりへの思いや「できていくってことを大切にしたい」という思いが意見交換会の中で語られました。

基本構想の策定もみんなで作ってあげていく。そうした飯田らしいボトムアップの積み上げによる議論が重ねられています。



市民ワークショップの声

整備検討委員会とは別に、多くの皆さんの声をお聴きしようと、市民ワークショップを開催しています。これまでに開催した市民ワークショップでは、文化会館という施設に対する意見だけでなく、普段の生活の中で文化会館がどのような存在であるべきかについての意見など、さまざまな視点から意見が出されています。



- ★開催日：令和4年9月4日
- ★参加者：20名
(高校生、大学生、一般)

飯田の文化をともに考える
BUNKAミーティング
(りんご並木 まちかど芸術祭)



テーマ 01

こんな文化会館なら行ってみたい！

※さまざまな意見の中から一部を抜粋

- 😊 発表のためだけでなく、日常的に使える
- 😊 障がい者、高齢者も使いやすい設備がある
- 😊 本物の文化や芸術に触れられる
- 😊 音楽や芸術だけでなく、食などをはじめとした異文化交流ができる
- 😊 大人から子どもまで（どちらかに偏るのではなく）一緒にいられる交流の場になれば、日常の中でもコミュニケーションが増えるのでは
- 😊 伝統芸能の発表を通して、次の担い手である若者と交流できる機会がある



テーマ 02

飯田の文化芸術でやりたいこと・活動

※さまざまな意見の中から一部を抜粋

- 😊 県外からも人を呼べるイベント、たくさんの人と交流できるイベント
- 😊 ライブやフェスをしたい！手話劇をしたい！
- 😊 いろいろな視点から文化を見て、新たな発見をしたい
- 😊 裏方など「支える側」をやってみたい
- 😊 人形劇と音楽を組み合わせるなど、新しいことをしてみたい



今後に向けて

整備検討委員長に伺いました

“基本理念に込められた想い”

委員それぞれが今までの文化会館での活動や想いを振り返ったときに、「つくる」とか「感動」という言葉が共通に出てきました。もう1つ出てきたのが「飯田のひろば」という言葉で、これは場所や建物ありきではなく、皆さんが自然と集まってくるところ。その「ひろば」という言葉が見つかった時に、委員の気持ちがまとまりました。

“これからの検討のポイント”

「文化会館」というと、特別な場所というイメージがあると思います。非日常ですよね。そこは大きな反省点で、改善しなくてはならないことだと思っています。皆さんが気軽に集まり、利用できる場所にしたい、自然と人が集まってきて「ひろば」となるような文化会館にしたいと思っています。そのためには、建物だけでなく、取り巻く環境も大事だと考えています。

このことは、高校生や大学生からワークショップで話を聞いたり、専門家のご意見が私たちに伝わったりしたことによります。

今まで文化会館になじみのなかった皆さんからも、ぜひご意見をいただきたいです。よろしくお願いします。



整備検討委員長
塩澤 哲夫 さん

みんなでつくる新しい文化会館を目指して

新しい文化会館の整備検討状況を市のウェブサイトや「**ニュースレター**（1～4号発行）」でお伝えしています。4月には、新しい情報誌「**toi toi toi!**（トイトイトイ）」も創刊。飯田の芸術文化が育てられてきた土壌や背景を振り返りながら、過去と現在と未来を繋ぐための情報誌として、文化会館や公民館、市役所などの公共施設で配布しています。

さらに、新しい文化会館の整備に向けて、引き続き市民ワークショップを開催する予定です。一緒に情報発信などの広報活動をしたい方や市民ワークショップの運営に興味のある方は、お気軽に文化会館へお問い合わせください。



ニュースレター

toi toi toi!

男女共同参画推進 お互いを認め合う社会に



男女共同参画推進事業者等表彰の受賞者



男女共同参画に関する標語の入賞者

3月27日、男女共同参画に関する標語「素敵なパートナー^{ひとひと}男と女」の入賞者、上村小の横前絢葉さんと竜東中の小池美波さんへの表彰と、「飯田市男女共同参画推進事業者等表彰」として川路まちづくり委員会と川路おむすび保育園(社会福祉法人ゆいの里)への表彰を行いました。

受賞者は、皆で協力し合い認め合える社会への想いを語っていました。

地域公共再生可能エネルギー 活用事業の認定と協定



座光寺小学校と公民館の屋根を利用した太陽光発電を行う座光寺地域自治会と株式会社リックスとが協働して行う「座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業」を認定し、3月23日に認定証の授与式と協定書の調印式を行いました。

脱炭素先行地域連携協定 持続可能な地域づくりを



野田専務執行役員と協定書を手にとり、市と中部電力株式会社は、令和4年11月に選定を受けた「脱炭素先行地域」に関連し、地域マイクログリッドの構築をはじめとする事業に協働して取り組むため、基本協定を締結しました。



「うごくる。」初のイベント 未来につながる行動

プロジェクトを示したカードを選ぶ参加者
 当地域で、SDGsの目標達成や課題の解決に取り組む人を支援する「環境文化都市づくりプラットフォーム」の愛称が「うごくる。」に決定後、初のイベントが開催されました。SDGsの到達地点である2030年までの道のりを体感するカードゲームや、地域課題解決に取り組むNPO法人の事例紹介などが行われ、小学生から大人までの総勢48名が学びと交流を深めました。



3月18日、幅広い年齢層が集まってムトスぶらざで開催

東北スタディツアー報告会 東北を知り、飯田を知る



報告を行うスタディツアーの参加者

高校生講座「東北スタディツアー」の報告会を3月21日、ムトスぶらざで行いました。参加した5名の生徒が、東日本大震災の被災地での研修や飯田を知る学習を通じて学んだことを報告しました。

域産域消の食育店 地域の食を支える



食生活改善推進協議会の皆さんと

市では、地元農産物を豊富に使用した料理や、健康に配慮した料理を提供する店舗を「飯田市域産域消の食育店」として認定しており、「JAサービス虹の味工房あじ彩」が新たに認定されました。

現代版 養生訓

たいじょうほうしん
帯状疱疹のおはなし



皮膚科
かみじょう ふみなお
上條 史尚 医師

帯状疱疹は、多くの人が子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏して、過労やストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して、帯状疱疹を発症します。体の左右どちらかの神経に沿って、通常、皮膚症状に先行して痛みが現れます。神経に炎症を起こすからです。その後、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが多数集まって帯状になります。神経の損傷がひどいと、皮膚の症状が治った後も、痛みが続くことがあります。これは「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれ、最も頻度の高い合併症です。神経は損傷さ

れると再生がしにくいからです。また、帯状疱疹が現れる部位によって、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などの合併症を引き起こすことがあります。治療は、原因となつていくウイルスを抑える抗ウイルス薬と、痛みに対する痛み止めが中心となります。帯状疱疹の痛みは発疹とともに現れる痛みと、その後、神経が損傷されることにより長く続く痛みに分けられ、それぞれに合った痛み止めが使われます。帯状疱疹は、加齢や疲労などによる免疫力の低下に伴い、誰でも発症する可能性のある病気です。帯状疱疹になりにくい体づくりのためには、食事のバランスに気を付ける、睡眠をきち

んととるなど、日頃から体調管理を心がけることが大切です。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹を発症するといわれています。50歳以上の方は、ワクチン接種で予防（保険診療外）することも選択肢のひとつです。



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.0265-21-1255

Vol.27

市長室から

市長 佐藤 健

「サボテン博士とりんご並木」



この4月から始まったNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」は、植物学者の牧野富太郎をモデルとする榎野万太郎（神木隆之介さん演）が主人公の物語ですが、その万太郎があこがれる植物学者・里中芳生（いとうせいこうさん演）は、あの飯田出身の「日本の博物館の父」田中芳男がモデルとなつているということです。

恥ずかしながら、私自身が田中芳男のことを知ったのは、ほんの10年ちよつと前、副市長として飯田に帰ってきてからのことですが、その業績を知るにつけ、こんな人物が飯田から出たのかと驚きと誇りを覚えました。ドラマの中では、里中は「サボテン博士」という設定のようですが（確かに、

田中芳男もサボテンの研究をしていたようですが）、田中芳男の業績は、「日本で初めて」のものだけでなく、「博覧会の開催」「博物館の創設」「上野動物園の開設」「国立国会図書館の創設」などなど、十分主人公を張れるくらいのものであります。そして、「西洋りんごの接ぎ木」をして日本にりんご栽培が広がるきっかけを作ったのも田中芳男だと聞けば、りんご並木70周年の年に彼をモデルにした人物がNHKの朝ドラに登場するとは、なんて不思議な巡り合わせだろうと感じます。この原稿を書いている時点では、まだ里中芳生はドラマに登場していませんが、それを楽しみに、ご家族皆様までご覧いただければと思います。

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.100

関係人口・還流人口 創出の可能性

和歌山大学観光学部卒

藤井 優希さん (愛媛県四国中央市出身)

毎年大学の夏季休暇中に、全国の大学生や地元の高校生が参加して行われている飯田でのフィールドスタディですが、10年以上続けられ、これまでに大学生で600名以上、高校生で150名近くが参加しました。そこで、フィールドスタディの参加者がその後、飯田とどのような関わりをもっているのかについて、卒業論文として調査させていただきました。

その結果、なんと大学生の4分の1、高校生の5分の4が飯田と今後も関わりたいと答え、フィールドスタディが関係人口・還流人口の創出可能性をもっていることが明らかになりました。また、同調査から、飯田以外の地域で、飯田での学びが活かされていることも確認できました。

私事にはなりますが、この4月から和歌山県の紀美野町にて地域おこし協力隊として地域の人材育成に携わることになりました。飯田で学ばせていただいたことを活かして、関係人口・還流人口創出の一助を担っていきたいと考えています。



学輪IIDA全体会で発表する藤井さん(左)



先月の
坂野建太さん(松尾)
からのリレー

先日、桜の花見後のゴミの片付けが大変だったというニュースを見ました。厳しい冬を越し、私達の心に優しさや癒しを与えてくれた桜に感謝の心は無いのでしょうか?美しい環境でこそ桜はより輝けるのだと思います。

WBCのヒーローの大谷選手は、小さい頃からゴミ拾いをし、技術だけでなく心も養い、自分を高める事に努力してきたそうです。だからこそあの素晴らしい感動を残してくれました。

私も可愛い子どもや孫に伝承できるよう、これからもごみ拾いを続けていきます。美しい環境は優しい心を育て、地域を輝かせてくれると信じて…。

今がんばっていること

澤柳美和子さん(龍江)

毎月市民の皆さんに、

①私の健康法 ②感動したこと ③今がんばっていること ④まちづくりへの提言
以上の項目から選んで語っていただき、次の方にボタンタッチする「リレートーク」
です。次はあなたの番かも…



鈴木獅央さん
(竜峡中学校3年)

私の目指す将来

僕の夢は、航空関係の仕事にたずさわることです。

なぜこのような仕事にしたかと言うと、僕の家族には英語関係の仕事をしている人がいて、小さい頃から英語を使ってお仕事をしているのがかっこいいと思い、世界の色々な人とコミュニケーションが取れてやりがいのある素敵な仕事だと思ったからです。

まだ具体的には決まっていますが、自分のやりたい事を考え、調べ、視野を広げて夢に向かって努力していきたいです。